

Q 年上の部下と接するポイントは？

年上の部下が増えました。遠慮もあり、どのように接したらよいのか困っています。（管理職 40代男性）

A 受容的態度と組織目標の明確化を

日本特有の「目上の人を大切にする」という美德と、「部下は上司に従うべき」という規範のサンドイッチ状態に苦勞されているケースが多く見受けられます。しかし、大半の年上の部下の方たちは、職を失わないために腹を決めて、年下の上司に従うことを選んできたのです。ここを外さないようにしましょう。

反感を抱かれる場合の理由を三つ挙げます。一つ目

は存在否定です。役職・能力云々（うんぬん）ではなく、職場の一員として存在してくれてありがとう、という受容的な態度で接していますか？ 二つ目は「私に～しろ」というメッセージ

を送っているためです。「あなたの」ではなく「組織の」目標を、明確化・言語化・共有化することが重要です。三つ目は、今の仕事だけを評価しているためです。もちろん能力や業績評価は大事ですが、人の価値はそれだけではありません。今までのキャリアや趣味の中から、相手の宝探しを試みましょう。雑談は、最強のコミュニケーションスキルです。仕事へのモチベーションは、自分のためという「利己性」からではなく、組織や社会のためという「利他性」から生まれます。



崎山みゆきさん

株式会社「自分楽」
代表取締役